

全国助産所分娩基本データ収集システム2019 集計結果報告

安達久美子
日本助産師会

I. はじめに

2013年4月より、全国助産所分娩基本データ収集システム（以下、IT）が開始されました。本稿では、2019年分を報告します。データ分析期間のITの利用者は、本会所属の助産所の78.8%（2020年1月現在）でした。

II. 集計方法

2019年1月1日～2019年12月31日の間に出産し、ITシステムに登録されたデータのうち助産所、自宅での出産となった2,538件のデータを対象としました。データの未入力、途中で転院になった者等は除外しています。

III. 集計結果

1. 妊産婦の背景

分娩歴は、初産婦511人（20.1%）、経産婦が2,027人（79.9%）でした。1回経産婦が962人（37.9%）で最も多く、次いで2回経産婦が731人（28.8%）でした（表1）。

表1 分娩回数

経産回数	件数	比率
0	511	20.1%
1	962	37.9%
2	731	28.8%
3	242	9.5%
4	63	2.5%
5	19	0.8%
6	7	0.3%
7以上	3	0.1%
合計	2,538	100.0%

平均年齢は、初産婦29.1（±4.9）歳、経産婦33.3（±4.5）歳でした。2018年とほぼ同様でした。初産婦では35歳未満が85.7%、経産婦では57.0%、昨年に比べて、経産婦で35歳未満の割合が減少しました。

2. 妊娠期について

初診時の妊娠週数は、平均が18週、20週までが66.7%で、昨年、20週までが70.1%であったのに比べて、初診の週数が遅くなっていました。予定日の算出にあたっての根拠は、最終月経のみ26.6%、超音波のみ50.7%、両方22.6%でした。昨年と大きな違いはありませんでした。

妊娠中に何らかの異常が認められたのは、初産婦7.2%、経産婦7.3%であり、2018年と大きな差はありませんでした。異常の項目では、母子感染の危険性が最も多く4.4%、切迫流産が2.1%でした。33週以降のGBS検査で陽性は4.1%でした。貧血（Hb9.0/dl未満）は0.2%でした。

3. 分娩期について

分娩場所については、助産所88.8%、自宅8.2%オープンシステムは3.0%でした（n=2,616）。分娩場所の割合については、自宅、オープンシステムが増加していました。

経産婦におけるリピーター（前回も同じ助産所で出産）の割合は40.6%でした。

分娩所要時間の平均は、初産婦12時間59分、経産婦5時間57分でした。初産婦で30時間以上を要したのは3.7%、経産婦で15時間以上を要したのは2.9%でした。分娩時の妊娠週数は、39週が最も多く37.8%、次いで40週が31.4%でした。37週未満が0.2%、42週以降が0.1%でした（図1）。

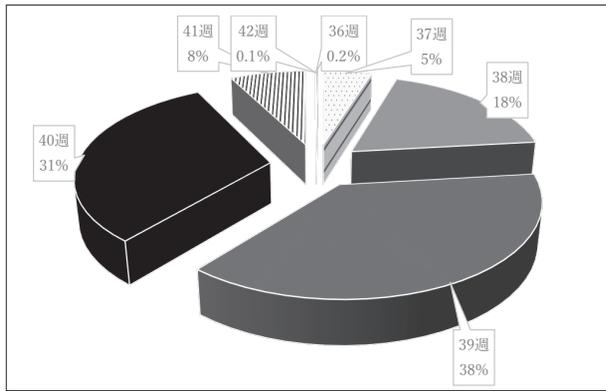


図1 分娩時の妊娠週数

前期破水は、初産婦11.9%、経産婦7.4%でした。分娩時の出血量は、初産婦で349ml、経産婦で340.5mlでした。分娩時の出血量が500ml以上であったのは、初産婦で19.2%、経産婦で17.3%でした。

会陰裂傷は、初産婦では、無38.4%、I度46.0%、II度13.3%、III～IV度は0.4%でした。経産婦では、無63.6%、I度31.3%、II度4.7%、IV度が1件のみでした。膣壁裂傷は、初産婦1.6%、経産婦0.2%でした。

分娩時の家族立ち会い（複数回答）は、夫83%、子ども48%、実母20.0%、その他10%でした。

4. 新生児について

出生時の児体重の平均は、男児 3,179 (±350) g、女児3,077 (±347) gでした。

出生5分後のアプガースコアは、8点以上が99.5%でした。

出生直後の児の異常では、呼吸障害（多呼吸・陥没呼吸・呻吟・鼻翼呼吸・シーソー呼吸・不規則な呼吸・その他）が最も多く1.3%でした。次いで、外表異常が0.3%でした。

5. 栄養方法（図3）

退院時の児の栄養方法は、初産婦で母乳のみが

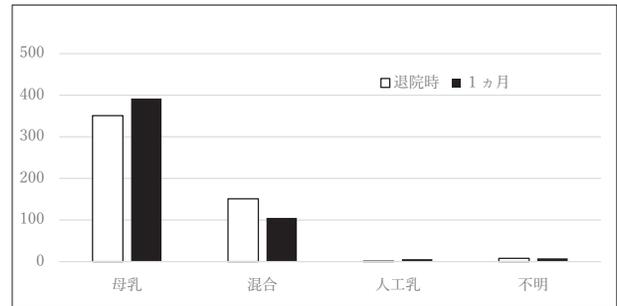


図2 児の栄養方法別の人数（初産婦）

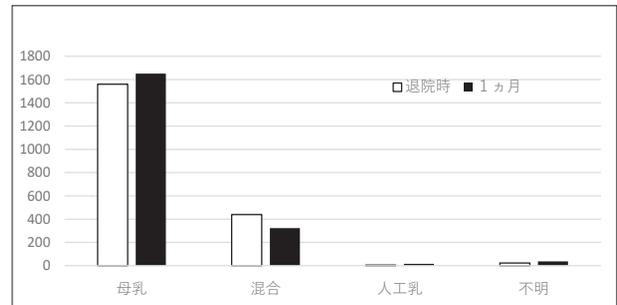


図3 児の栄養方法別の人数（経産婦）

68.7%、混合29.6%、人工乳0.2%、不明1.6%、経産婦で母乳のみが77.0%、混合21.7%、人工乳0.25%、不明1.1%でした。産後1カ月の時点では、初産婦で母乳のみ76.7%、混合20.6%、人工乳1.2%、不明1.6%、経産婦では、母乳のみ81.5%、混合15.9%、人工乳0.8%、不明1.8%でした。

IV. まとめ

ITシステムが開始されて8年が経過しました。これまでデータでは大きな変化は見られず、ここでお示ししたデータは、ほぼ助産所の分娩の状況を表すものと考えられます。昨年10月より、新ITシステムが稼働しました。分娩基本データについては、分娩の入力項目を厳選し、簡素化いたしました。引き続き、データの入力をお願いいたします。